

1  
2  
3  
4  
5  
6  
7  
8  
9  
10  
11  
12  
13  
14

(3) 実験動物における体内動態のまとめ

ラットに経口投与した FB1 の吸収率は低く、投与量の 4%以下で、ほとんどが代謝されずに糞及び尿に排泄される。ラットに  $^{14}\text{C}$ -FB1 を単回強制経口投与した場合の血中からの消失半減期は 3.15 時間、臓器における半減期は肝臓で 4.07 時間、腎臓で 7.07 時間であった。また、 $^{14}\text{C}$ -FB1 を単回静脈内投与すると、血中からの消失半減期は 1.03 時間であった。吸収された少量の FB1 は、全身に分布するが、主に腎臓及び肝臓に検出され、筋肉及び脂肪ではほとんど検出されなかった。

FB1 は尿中及び糞中へ排泄されるが、ラットに強制単回経口投与をした場合、投与後 84 時間目までの  $^{14}\text{C}$ -FB1 の尿中及び糞中への排泄はそれぞれ投与量の 0.5%及び 90%で、性差はみられなかった。また、糞及び尿から加水分解された FB1 が検出された。